

【令和4年度】指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート

施設名	吹田市立藤白台デイサービスセンター	所管部室課名	高齢福祉室
所在地	吹田市藤白台2-9-1-115	設置年月日	平成15年4月1日

1 施設の概要

(1)設置目的	高齢者の福祉の向上及びその介護者の負担の軽減を図る。		
(2)規模、開館日等	【規模】 延べ床面積 432.7㎡ 定員数 25人	【開館日等】 開館日 月～土曜日午前8時～午後6時 休館日 日曜日、年末年始	

2 指定管理者の概要

(1)指定管理者	社会福祉法人 吹田みどり福祉会					
(2)指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日					
(3)選定方法	公募					
(4)指定管理者が行う業務内容	・通所の方法による入浴、食事の提供、機能訓練、介護方法の指導その他のサービスの提供に関する業務 ・利用の許可に関する業務 ・利用料金の設定及び徴収に関する業務 ・施設及び附属設備等の維持管理に関する業務					
(5)指定管理者の収支			令和3年度		令和4年度	
			計画	実施結果	計画	実施結果
	収入	介護報酬等 (円)	55,843,000	51,735,085	57,790,000	55,481,904
		その他 (円)	1,217,000	1,279,390	1,270,000	1,880,076
		合計 (円)	57,060,000	53,014,475	59,060,000	57,361,980
	支出	管理経費 (円)	55,116,000	55,110,775	55,678,000	54,485,584
		その他 (円)	0	0	0	376,040
合計 (円)		55,116,000	55,110,775	55,678,000	54,861,624	
収支差額 (円)		1,944,000	△ 2,096,300	3,382,000	2,500,356	

3 施設の利用状況

利用状況を示す指標		令和3年度		令和4年度	
		計画	実施結果	計画	実施結果
1	延べ利用者数 (人)	6,396	5,719	6,630	5,818
2	稼働率 (%)	82.0	73.3	85.0	74.8

4 利用者ニーズの把握の状況

(1)把握方法	利用者と家族へアンケートの実施、家族には毎日の送迎時や連絡ノート、アンケートの項目で困りごとや要望等を聴取している。また、利用者が話しやすい雰囲気づくりを心がけるとともに、利用時間内に要望等を聞く時間を確保している。
(2)把握結果	サービスにおおむね満足する声をいただいている。 アンケートでは、入浴時間の延長希望や、食事の量が多い、職員に名札を着用ほしい等の声があった。
(3)結果を受けての対応状況	毎日のミーティングで利用者の声を共有し、利用者の個性や体調を加味し、都度対応している。職員の名札着用といった、昨年度から引き続き声の挙がっているものについて、改善に努められたい。

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価
(1)市民の平等な利用の確保	利用申し込み前に1日体験デイを実施しており、施設の実際の様子を感じてもらうことで、利用者確保に繋げている。また、ホームページに曜日別の空き状況を掲載しており、施設利用を検討しやすいようにしている。 実際に利用申し込みがあった場合は、送迎時間や本人の状態を考慮しつつ、なるべく受け入れている。
(2)施設の効用の発揮	リハビリにより、車椅子利用者が歩行器を使ってトイレに行けるようになった、自宅に籠りがちだったが、デイサービスセンターに通うことで自信が芽生え、ゴミ捨てや買い物に行けるようになった、施設で絵画や習字をしたことがきっかけで、自宅でも絵を描くようになった、といった、当該施設の利用をきっかけに利用者の心身に良い影響をもたらしている。
(3)管理を安定して行う人員、資産その他の経営規模及び能力	法令を遵守した人員体制となっており、事業計画時の目標人数も達成している。また、WEB動画を活用しながら研修を受講しており、コロナ禍であっても研修を受講できるよう工夫していた。 財政面に関して、指定管理業務では昨年度より収支状況が改善され、黒字決算となった。しかしながら、自主事業が赤字決算となった。サービスの特性や人手不足により増収が困難であるが、収支の回復に向け努められたい。
(4)施設の管理経費の縮減	電気の消灯、印刷枚数削減に関する意識の向上、みどりのカーテンやサーキュレーターを用い空調設備の使用量の削減、自然光の利用による電気使用量の削減を実施している。
(5)その他	1日体験デイ、広報誌の掲示のほか、ホームページの充実、レクリエーションの工夫等、利用促進に取り組んだことで、昨年度に比べ稼働率が上昇した。 地域連携については、指定管理申請書に記載のものほか、コロナ禍で苦しむ学生に対し食料を配達、小学校行事へ協力する等、積極的に取り組んでいる。
(6)総合評価	協定書等をおおむね遵守し、施設の管理運営を行っていた。利用者や家族の声に寄り添い、真摯に向き合っていた。その結果、利用者アンケートではサービスに満足する声が多くあり、中には質のサービスに感謝する声もあった。 来年度が指定管理期間の最終年度となるが、募集要項に記載している加算の取得について取り組まれたい。